

クイズに答えてステキな商品を当てよう！ 広報クイズ

舞鶴の特産品やお土産などを抽選でプレゼントします。問題の○に当てはまる文字や数字をお答えください。ヒントは紙面の中に。

- 問題1 夏の伝統行事「城屋の○○○」
- 問題2 国道○○号西舞鶴道路の建設が進む
- 問題3 加佐から情報発信「地域○○○協力隊」

【広報まいづるアンケート】

- ◆「広報まいづる」について、あなたの満足度は、次の①～④のうちどれですか？
①大変良い ②良い ③不満 ④大変不満
- ◆今月号の広報まいづるで一番面白かった記事を教えてください。
- ◆「IoT」や「AI」が広まっていく将来についてどう感じますか？

「はがき」か「市ホームページ応募フォーム」で①クイズの答え②「広報まいづる」アンケートの回答③住所④氏名（ふりがな）⑤年齢⑥電話番号の広報紙や市政へのご意見などを記入し、9月25日（消印有効）までに広報広聴課へ。

※応募は1人1通。当選者は全問正解者の中から抽選のうえ決定。発表は発送をもって代えさせていただきます。
※お寄せいただいた感想、ご意見は、匿名で広報紙に掲載することがあります。アンケートやご意見の内容は抽選に影響しません。

- ◆はがき 〒625-8555（住所不要） 舞鶴市役所広報広聴課あて
- ◆市ホームページ応募フォーム
(<https://www.city.maizuru.kyoto.jp/jform/quiz.html>)



【8月号の答え】
①ふるさと ②7.9 ③原子力

9月号プレゼント 凡愚の「焼き鯖寿司」を5名様に

凡愚自慢の焼き鯖寿司、厳選された真鯖を香ばしく焼きあげました。自慢のシャリは丹後コシヒカリ、特製合わせ酢との相性抜群。お食事・手土産などに好評いただいております。どうぞご賞味ください。



提供：居食屋 凡愚
(市内字北田辺170-7、☎77-1490)

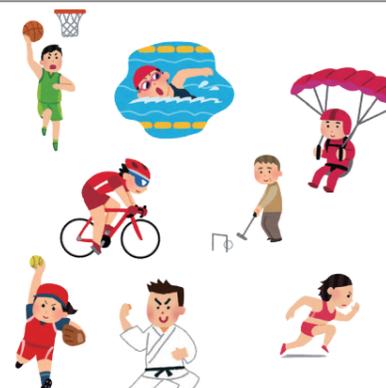
応募方法

- ### アジア大会出場おめでとう
- ☆2018アジア競技大会パラグライダーイング競技
(8月18日～9月7日、インドネシア) 岩崎拓夫(城南中出身)
 - ☆日韓青少年夏季スポーツ交流バスケットボール競技
(8月13日～19日、韓国) 岩田誠仁朗(糸内小6年) 中西哲太(志葉小6年)
 - ☆全国小学生陸上競技交流大会
(8月17日・18日、神奈川県) 金谷舞花(朝来小6年) 村田律樹(新舞鶴小6年)
 - ☆全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
(8月22日～26日、東京都) 和田弦大(府立平業高3年、城北中出身)
 - ☆国民体育大会(9月1日～10月9日、福井県) ゲートボール競技(公開競技) 織田恵美子(池内) 近藤さよ子(下福井)



全国大会等出場者を紹介

- 菅野あい子(寺田) 真下彰子(下福井) 水嶋幾久枝(白杉) ◆トライアスロン競技 山下陽裕(白糸中出身)
 - ☆全日本空手道松涛館全国空手道選手権大会(9月23日、東京都) 山崎睦月(明倫小6年)
 - ☆ジュニアオリンピック陸上競技大会(10月12日～14日、神奈川県) 土佐美月(青葉中3年)
 - ☆全日本エルトソフトボール大会(10月12日～15日、奈良県) 荒木美津子(上安) 山本久美子(倉倉)
- (以上敬称略)



糸井文庫 「海辺の京都浮世絵コレクション」 第5回 古今百人列女鑑 安寿姫・対王丸



丹後の海を背景に、集めた薪を縄でくくる弟の対王丸を心配そうに見守る姉の安寿。安寿の肩に担がれた天秤桶には、なみなみと海水が入っています。

三庄太夫のもとに奴隷として売られた安寿と対王丸の姉弟は、朝から晩まで過酷な汐汲みと柴刈り(薪の収集)を命じられます。

かつて日本では海水を煮詰め塩を

作りました。対王丸がさせられた柴刈りは、海水を煮詰めるための燃料の収集を意味し、安寿の汐汲みは塩を作るため海水を汲むことを指します。ふたりとも当時貴重品だった塩を作るため、三庄太夫によって働かされていたのです。

ふるさと発見館糸井文庫コーナーでは、今月は「安寿と対王丸」をテーマに展示しています。

Our community 夢中になる時間 自治会・ボランティア団体・学校・サークル団体などの活動を紹介

まいづるおもちゃ病院

日々、多くのおもちゃがごみとして捨てられているなか、おもちゃの修理を通して、ものを大切にすることを伝えたい。まいづるおもちゃ病院は「まいづる環境市民会議」のチャレンジ事業をきっかけに、2013年に有志で結成したボランティアグループです。現在会員は12人で、年間4～5回ほど不定期で開院しています。

「おもちゃ病院」は、世代を超えた仲間が、ひとつのおもちゃを囲み、ああでもないこうでもない話をしながら壊れた原因をつきとめ、直って動き出した瞬間にはみんなの歓声が上がります。そんなおもちゃドクター側のやりがいも魅力のひとつ。おもちゃを持ってくる子ども達よりも直す側が楽しそうにしています。

子ども達の笑顔、大人たちの笑顔、笑顔の連鎖を地域へ。そんなことを考えながら、いつも次の開院を楽しみにしています。

【問い合わせ先】
まいづるおもちゃ病院(電子メール: maizuru.omotya@gmail.com)

掲載団体を随時募集中 自治会・ボランティア団体・学校・サークル団体などの活動を紹介しします(応募多数の場合選考)。

<https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto/uketsuke/dform.do?asc=maizuru>

